

『感染症レジデントマニュアル(第2版)』 第2刷 正誤表

2014年4月現在

訂正箇所	誤	正
50頁・見出し「1. 髄膜炎」上から12～14行目	▶意識レベル低下, focal sign, papilledemaのいずれかがあれば, <u>②の前に③とし、かつ続いて頭部CTを行う。頭蓋内圧上昇と判断したら、腰椎穿刺は行わない。</u>	▶意識レベル低下, focal sign, papilledemaのいずれかがあれば, <u>まず抗菌薬を開始した後、頭部CTを行う。もし、頭蓋内圧上昇と判断したら、腰椎穿刺は行わない。</u>